官　報　　平成 23 年 3 月 15 日　　号外第 51 号

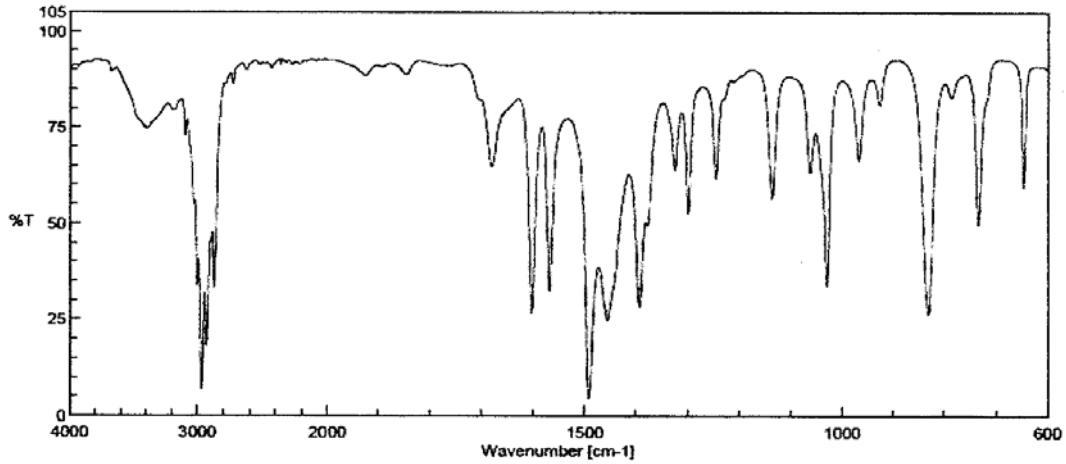
－ 告　示 －

○　厚生労働省告示第五十二号

食品衛生法（昭和二十二年法律第二百三十三号）第十一条第一項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準（昭和三十四年厚生省告示第三百七十号）の一部を次のように改正する。

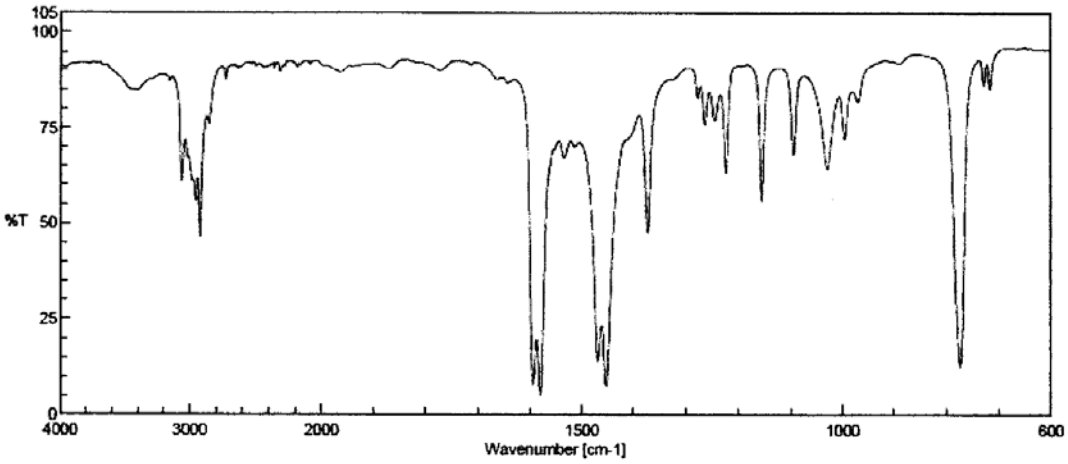
第２添加物の部Ｃ試薬・試液等の項 11 参照赤外吸収スペクトルの２−エチル−５−メチルピラジンの目の次に次の一目を加える。

５−エチル−２−メチルピリジン



第２添加物の部Ｃ試薬・試液等の項 11 参照赤外吸収スペクトルの２,６−ジメチルピラジンの目の次に次の一目を加える。

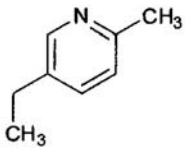
２,６−ジメチルピリジン



第２添加物の部Ｄ成分規格・保存基準各条の項２-エチル-５-メチルピラジンの目の次に次の一目を加える。

５－エチル－２－メチルピリジン

５－Ethyl－２－methylpyridine



$C_8H_{11}N$　　分子量　121.18

５-Ethy-２-methylpyridine［104-90-５］

含　　量　本品は，５-エチル-２-メチルピリジン（$C_8H_{11}N$）96.5%以上を含む。

性　　状　本品は，無色透明な液体で，特有のにおいがある。

確認試験　本品を赤外吸収スペクトル測定法中の液膜法により測定し，本品のスペクトルを参照スペクトルと比較するとき，同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

純度試験　(1)　屈折率 n_D^{20}　＝1.495～1.502

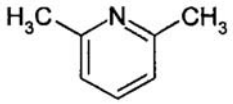
(2)　比重 d_{25}^{25}　＝0.917～0.923

定 量 法　香料試験法中の香料のガスクロマトグラフィーの面積百分率法の操作条件(1)により定量する。

第２添加物の部Ｄ成分規格・保存基準各条の項２,６-ジメチルピラジンの目の次に次の一目を加える。

２，６－ジメチルピリジン

２，６－Dimethylpyridine



C_7H_9N　　分子量　107.15

２,６-Dimethylpyridine　［108-48-５］

含　　量　本品は，２,６-ジメチルピリジン（C_7H_9N）98.5%以上を含む。

性　　状　本品は，無色透明な液体で，特有のにおいがある。

確認試験　本品を赤外吸収スペクトル測定法中の液膜法により測定し，本品のスペクトルを参照スペクトルと比較するとき，同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

純度試験　(1)　屈折率 n_D^{20}　＝1.495～1.501

(2)　比重 d_{25}^{25}　＝0.917～0.923

定 量 法　香料試験法中の香料のガスクロマトグラフィーの面積百分率法の操作条件(2)により定量する。

第２添加物の部Ｆ使用基準の項２-エチル-５-メチルピラジンの目の次に次の一目を加える。

５-エチル-２-メチルピリジン

５-エチル-２-メチルピリジンは，着香の目的以外に使用してはならない。

第２添加物の部Ｆ使用基準の項２,６-ジメチルピラジンの目の次に次の一目を加える。

２,６-ジメチルピリジン

２,６-ジメチルピリジンは，着香の目的以外に使用してはならない。